

## 独立行政法人奄美群島振興開発基金 事業年度評価の全体評価シート

中期計画の項目	評定	理由・指摘事項等
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A <sup>+</sup> ・(A)・B・C・D	職員研修の実施、融資メニュー等の改正、コンプライアンス体制の充実に加え、一般管理費及び総人件費の削減について年度計画を上回る実績を上げており、業務の合理化・効率化に向け、各指標とも順調に達成している。 また、福利厚生費についても法令上必要な支出のみであり、問題は認められない。
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A <sup>+</sup> ・(A)・B・C・D	標準処理期間内の事務処理の迅速化、適切な条件設定など保証、融資業務とも順調に達成している。 但し、情報提供や利用者ニーズの把握も着実に実施されているが、新たな保証・融資ニーズの発掘の工夫の余地がある。
第3 予算、収支計画及び資金計画	A <sup>+</sup> ・A・B・(C)・D	リスク管理債権に関する年度計画については、大幅に未達成であることから、引き続き、改善に向けた努力を行うとともに、更なる改善方策の検討が必要。 また、予算及び収支についても計画を大幅に未達であるうえ、繰越欠損金が増加しているため、一層の財務内容の改善に取り組む必要がある。
第4 短期借入金の限度額	—	—
第5 重要な財産の譲渡等の計画	—	—
第6 剰余金の使途	—	—
第7 施設及び設備に関する計画	—	—
第8 人事に関する計画	A <sup>+</sup> ・A・(B)・C・D	年度計画をおおむね達成している。今後とも、適切な人員配置による業績効果を見据えた対応が必要である。
第9 その他業務運営に関する重要事項	—	—

### 全体評価

全体として順調に年度計画を達成しており、職員研修の実施、政策目的を踏まえた融資メニュー等の改正、コンプライアンス体制の充実に加え、一般管理費及び総人件費の削減など業務の合理化・効率化に向けた取り組みを実施していることは高く評価できる。

また、リスクに応じた保証・融資条件の見直しを行ったほか、標準処理期間内の事務処理の迅速化、中小企業信用情報データベースの活用等に努めるとともに、利用者等の利便性向上のため、情報提供や利用者ニーズの把握も着実に実施されていることは高く評価できるが、新しいニーズ発掘のため更なる工夫を加えつつ、業務実績に効果的に反映する説明会の実施等を検討する必要がある。

債権管理体制の見直し、金融機関との協調等による経営・再生支援の取り組み、期中管理の徹底等によりリスク管理債権は昨年度より減少し、融資業務に係るリスク管理債権については計画を達成しているものの、リスク管理債権割合、回収率等については大幅に計画未達成となっており、依然として多額のリスク管理債権及び繰越欠損金を抱えていることから、奄美基金の果たすべき役割、奄美群島内の事業者の実情等に十分留意しつつ、計画未達成事項の分析を踏まえた改善策を講じるとともに、引き続き、上記の取り組みを進め、財務の健全化に努める必要がある。

人事計画に関しては、おおむね順調に達成しているが、今後とも適切な人員配置による業績効果を見据えた対応が必要である。